

女房が働きたいって（65歳）正社員??
それってまた、年金代とか取られるから
ヤメ口!!（103 106 130の壁）

ほんとにそうなの??

キャリア相談室
社会保険労務士
泉谷史郎

奥さんの3号被保険者年数を数えよう

- 奥さんの3号被保険者年数と奥さん自身の厚生年金加入年数が480月に満たない場合⇒正社員になって厚生年金代を収めたほうが得!! (えっそうなの??)

◆旦那さんあなたもおんなじよ

計算 もし仮に標準報酬月額88,000「一番低い額」だった場合

①厚生年金額 $88,000 \times 0.0915 \Rightarrow 8,050$ 円取られる/月

②厚生年金もらえる月の増額 $88,000 \times 5.48/1000 \Rightarrow 480$ 円

+ (ここが大切) 経過的加算 $1,620$ 円/月 $\Rightarrow 2,100$ /月

だとすると。。。 $\Rightarrow 8,050/2,100 \Rightarrow 3.83$ だよ (厚生年金代を払って後4年生きてりゃそれ以降はずっとお得!!)

んーっ よくわかんないよ

- 奥さんの3号被保険者年数と奥さん自身の厚生年金加入年数が480月に満たない場合⇒正社員になって厚生年金代を収めたほうが得!! (えっそうなの??)

◆旦那さんあなたもおんなじよ

計算 もし仮に標準報酬月額88,000「一番低い額」だった場合

①厚生年金額 $88,000 \times 0.0915 \Rightarrow 8,050$ 円取られる/月

⇒厚生年金の標準報酬月額ってこうなっているんです。

厚生年金標準報酬月額

○令和2年9月分（10月納付分）からの厚生年金保険料額表（令和6年度版）

（単位：円）

標準報酬		報酬月額		一般・坑内員・船員 (厚生年金基金加入員を除く)	
等級	月額			全額	折半額
		円以上	円未満	18.300%	9.150%
1	88,000	93,000	~ 93,000	16,104.00	8,052.00
2	98,000	101,000	~ 101,000	17,934.00	8,967.00
3	104,000	107,000	~ 107,000	19,032.00	9,516.00
4	110,000	107,000	~ 114,000	20,130.00	10,065.00
5	118,000	114,000	~ 122,000	21,594.00	10,797.00
6	126,000	122,000	~ 130,000	23,058.00	11,529.00
7	134,000	130,000	~ 138,000	24,522.00	12,261.00
8	142,000	138,000	~ 146,000	25,986.00	12,993.00
9	150,000	146,000	~ 155,000	27,450.00	13,725.00
10	160,000	155,000	~ 165,000	29,280.00	14,640.00
11	170,000	165,000	~ 175,000	31,110.00	15,555.00
12	180,000	175,000	~ 185,000	32,940.00	16,470.00
13	190,000	185,000	~ 195,000	34,770.00	17,385.00
14	200,000	195,000	~ 210,000	36,600.00	18,300.00
15	220,000	210,000	~ 230,000	40,260.00	20,130.00
16	240,000	230,000	~ 250,000	43,920.00	21,960.00
17	260,000	250,000	~ 270,000	47,580.00	23,790.00
18	280,000	270,000	~ 290,000	51,240.00	25,620.00
19	300,000	290,000	~ 310,000	54,900.00	27,450.00
20	320,000	310,000	~ 330,000	58,560.00	29,280.00
21	340,000	330,000	~ 350,000	62,220.00	31,110.00
22	360,000	350,000	~ 370,000	65,880.00	32,940.00
23	380,000	370,000	~ 395,000	69,540.00	34,770.00
24	410,000	395,000	~ 425,000	75,030.00	37,515.00
25	440,000	425,000	~ 455,000	80,520.00	40,260.00
26	470,000	455,000	~ 485,000	86,010.00	43,005.00
27	500,000	485,000	~ 515,000	91,500.00	45,750.00
28	530,000	515,000	~ 545,000	96,990.00	48,495.00
29	560,000	545,000	~ 575,000	102,480.00	51,240.00
30	590,000	575,000	~ 605,000	107,970.00	53,985.00
31	620,000	605,000	~ 635,000	113,460.00	56,730.00
32	650,000	635,000	~	118,950.00	59,475.00

ここに仮定
した場合ね



会社と保険代を折半
しているから
こういう金額になる



奥さんの3号被保険者年数を数えよう

- 奥さんの3号被保険者年数と奥さん自身の厚生年金加入年数が480月に満たない場合⇒正社員になって厚生年金代を収めたほうが得!! (えっそうなの??)

◆旦那さんあなたもおんなじよ

計算 もし仮に標準報酬月額88,000「一番低い額」だった場合

①厚生年金額 $88,000 \times 0.0915 \Rightarrow 8,050$ 円取られる/月

これ老齢厚生年金
の計算式

②厚生年金もらえる月の増額 $88,000 \times 5.48/1000 \Rightarrow 480$ 円

+ (ここが大切) 経過的加算 $1,620$ 円/月 $\Rightarrow 2,100$ /月

これ老齢厚生年金の加入月が
480月満たない場合のの計算式
いわゆる国民年金の補填ですな

奥さんの3号被保険者年数を数えよう

- 奥さんの3号被保険者年数と奥さん自身の厚生年金加入年数が480月に満たない場合⇒正社員になって厚生年金代を収めたほうが得!! (えっそうなの??)

◆旦那さんあなたもおんなじよ

計算 もし仮に標準報酬月額88,000「一番低い額」だった場合

①厚生年金額 $88,000 \times 0.0915 \Rightarrow 8,050$ 円取られる/月

②厚生年金もらえる月の増額 $88,000 \times 5.48/1000 \Rightarrow 480$ 円

+ (ここが大切) 経過的加算 $1,620$ 円/月 $\Rightarrow 2,100$ /月

だとすると。。。 $\Rightarrow 8,050/2,100 \Rightarrow 3.83$ だよ (厚生年金代を払って後4年生きてりゃそれ以降はずっとお得!!)

ついでに、厚生年金加入が480月いっちゃってても、
 $8,050/480 \Rightarrow 16.7$ 65 + 16.7 (平均寿命でちょっと+) ですよ

奥さんの3号被保険者年数を数えよう

- 奥さんの3号被保険者年数と奥さん自身の厚生年金加入年数が480月に満たない場合⇒正社員になって厚生年金代を収めたほうが得!! (えっそうなの??)

◆旦那さんあなたもおんなじよ

計算 もし仮に標準報酬月額88,000「一番低い額」だった場合

①厚生年金額 $88,000 \times 0.0915 \Rightarrow 8,050$ 円/月

②厚生年金もらえなかった期間の補償 $1,000 \Rightarrow 480$ 円

+ (ここが大抵) $1,620$ 円/月 $\Rightarrow 2,100$ 円/月

だとすると。。。 $\Rightarrow 8,050 / 2,100 \Rightarrow 3.83$ だよ (厚生年金代を払って後4年生きてりゃそれ以降はずっとお得!!)

厚生年金は70歳まで加入できます。
しかも65歳以降は毎年年金額が増額されます。
楽しみじゃありませんか 笑

ついでに、厚生年金加入が480月いっちゃってても、
 $8,050 / 480 \Rightarrow 16.7$ 65 + 16.7 (平均寿命でちょっと+) ですよ